



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 平尾 丈
(コード番号: 3679 東証プライム)
問合せ先 取締役 執行役員 波多野 佐知子
(TEL. 03-6432-0350)

通期連結業績予想と実績値との差異及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当2022年3月期の通期連結業績予想と実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、個別業績の前期実績値との差異につきましても、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (IFRS)

連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	EBITDA	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2021年5月14日発表)	百万円 15,500 ～17,000	百万円 4,400 ～5,100	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
当期実績値 (B) (2022年3月期)	15,272	4,265	3,314	3,309	2,262	20.92
増減額 (B - A)	△228 ～△1,728	△135 ～△835	—	—	—	—
増減率 (B/A - 1)	△1.5% ～△10.2%	△3.1% ～△16.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績値 (2021年3月期) (C)	12,564	3,808	△1,062	△1,069	△1,964	△18.05
増減額 (B - C)	2,708	457	4,377	4,377	4,226	—
増減率 (B/C - 1)	21.6%	12.0%	—	—	—	—

【差異が生じた理由】

通期連結業績について、採用ニーズや国内外の旅行需要がコロナ禍以前に戻らない等に起因して、一部事業で回復が遅れた結果として、通期連結業績予想に対して、売上収益及びEBITDAはレンジ下限を下回る結果となりました。

また、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は未公表としておりましたが、前第2四半期連結会計期間にのれん等に係る減損損失総額3,986百万円をその他の費用に計上したこと等で、前期実績を大きく上回る結果となりました。

2. 2022年3月期通期個別業績と前期実績値との差異（日本基準）

個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） （2021年3月期）	百万円 4,435	百万円 504	百万円 1,995	百万円 △1,167	円 銭 △10.73
当期実績値（B） （2022年3月期）	6,224	843	2,336	2,007	18.56
増減額 （B - A）	1,790	339	341	3,174	—
増減率 （B/A - 1）	40.4%	67.3%	17.1%	—	—

【差異が生じた理由】

売上高に関しては、前期における株式会社ベーシックからの比較メディア事業の譲受、その他各サービスの伸長等により増加し、また人材配置の最適化、販売費及び一般管理費の抑制等により、営業利益が増加いたしました。当期純利益に関しては、前期において2,929百万円の関係会社株式評価損を計上したこと等により、前期実績を大きく上回る結果となりました。

以 上